富士市教育委員会　７月	定　例　会 臨　時　会	会　議　録 （令和４年）

開催日	会議場
令和４年７月２２日　金曜日 開　会　　１３時３２分 閉　会　　１４時３６分	富士市立中央図書館 ２階視聴覚室

出席委員の氏名

教　育　長	森　田　嘉　幸	委　　員	松　田　靖　子
教育長職務代理者	和久田　惠　子	委　　員	塩　谷　知　一
委　　員	篠　原　　均		

出席職員等の氏名

教育次長	江　村　輝　彦	教育研修・特別支援教育センター所長	川　崎　里　恵
教育総務課長	味　岡　俊　雄	青少年相談センター所長	川　口　壽　彦
学校教育課長	齋　藤　文　徳	博物館長	植　松　良　夫
学務課長	榎　　俊　英	教育総務課調整主幹	小長谷　　聡
社会教育課長	吉　田　和　洋	教育総務課参事補	吉　村　直　也
文化財課	久保田　伸　彦	教育総務課主幹	遠　藤　綱　輝
中央図書館長	大　川　英　子	教育総務課指導主事	米　田　一　也
富士市立高校副校長	小　塩　宜　浩		傍聴人　なし
富士市立高校事務長	青　木　　洋		

開会

会議録の承認

教育次長の報告要旨

教育次長	○市議会６月定例会について ・市議会６月定例会が６月 13 日から同月 29 日までの間で開催された。教育委員会に関連した一般質問は、７人の議員から８件の質問が提出された。一般質問に対する答弁要旨は、本日、配布させていただいた。

議題（動議）及び議事の大要

議第 32 号 （説明） (質問･意見等) （回答） (質問･意見等) （回答） （議決）	○富士市立博物館協議会委員の補欠委員の委嘱について ・博物館長 →任期が中途半端な期間になっているが、これは役職の移動等の関係によりこのようになっているということか。 →５月の教育委員会に提出し、令和４年６月１日とすべきだった。 →空白の期間ができたのか。それとも、前任者が継続していたのか。 →空白の期間ができてしまった。 →承認
議第 33 号 （説明）	○富士市立高等学校教科用図書の採択について ・富士市立高等学校副校長、富士市立高等学校情報教諭

(質問･意見等)	→資料に掲載されている継続とはどういうことか。１学年には継続の印がないが、これは新たに購入するため付かないのか。継続は１年生で使用したものを２年生、３年生と連続して使う場合に継続となるのか。
(回答)	→その通りである。
(質問･意見等)	→資料には各教科書が使われる学年がそれぞれ書いてあるが、この中には３年間使うものも含まれているということか。
(回答)	→その通りである。
(質問･意見等)	→資料にある新規とはどういうことか。
(回答)	→新規というのは、例えば現２年生が使用している教科書と、来年度の２年生、現１年生が使用する教科書が違う場合に新規となる。
(質問･意見等)	→この変更理由等の書式が提出されている新規採択の教科書について、承認を求めるということが本日の趣旨か。
(回答)	→その通りである。
(質問･意見等)	→今年使用していて来年度も使用する教科書は、改めて変更理由等の書式は提出していないということか。
(回答)	→その通りである。
(質問･意見等)	→２年生の教科書が新規になっているが、来年度の２年生は新たなものを使うということで新規ということか。
(回答)	→今年度の１年生から新学習指導要領で教育課程が組まれている。来年度の２年生は新学習指導要領になるため、今年度の２年生の教科書を変える必要がある。そのため来年度の２年生の教科書はほとんど新規である。
(質問･意見等)	→新規のうち、学習指導要領の変更を理由とせずに新規に変更する教科書はあるか。
(回答)	→１冊だけ、昨年度、変更した教科書の続編にあたる教科書に変更している。
(質問･意見等)	→今回採択するにあたり、どういう視点を大事にして採択したのか。
(回答)	→教科での違いがあるかと思うが、共通していることは考える材料や探究活動等があることを採択の主眼に置いている。例えば商業では検定の対策のみではなく、企業の経営について考えるなどの活動が掲載されている。
(質問･意見等)	→会社で扱っている分析方法等が掲載されているが、どの教員も把握し、教えているのか。
(回答)	→その通りである。
(質問･意見等)	→投資等については扱うのか。
(回答)	→金融教育に関しては公共という教科と家庭科で扱っている。先週、家庭科の授業に信用金庫の方を招き、話をいただいた。ビジネス探

	究科では以前から専門教科として扱っている。
(質問･意見等)	→どの教科書も当てはまるかわからないが、今回採択予定の教科書を見ると、これから社会人になったときに実際に学んだことをより一層発揮できるようなものを選んだように思える。
(回答)	→以前は、検定や資格の取得に重きを置いていた部分があったが、今は会社に入って役に立つ知識を身に付けるところを優先にしている。本校は以前から探究活動をやっており、そのような視点でも選んだと思う。
(質問･意見等)	→市立高校の生徒に会う機会が多くあるが、話がうまく、物事をうまく要約して話を伝えられると感じる。ディベートやコミュニケーションなどの勉強をしているのか。
(回答)	→総合的な探究の時間である究タイムで１年次からそのような訓練を、段階を踏んで行っている。各教科でもグループ学習や発表を繰り返し行っているので、そういった成果だと思う。
(質問･意見等)	→教科書は何かあるのか。
(回答)	→究タイムには、教科書はない。１年間計画立てて作った、先生方の自作のプリント等の資料を使用している。
(質問･意見等)	→微分積分などの難しい内容を生徒はどのくらい理解しているのか。学習することになっており、省くことはできないと思うが、将来、生徒全員がその内容を専門的に扱うわけではないので、もっと基礎的なことをしっかり扱い、社会出てから役に立つような授業や教科書にしているのか。
(回答)	→出版社によっては、１つの科目に対して難易度を変えて複数の教科書を出版している場合がある。その中から本校生徒に見合った教科書を各教科の教員が選択している。ただ、内容に関しては履修する必要がある。習熟度別授業を展開したり、職員室などで個別指導をしたりなどしている。また、問題集の工夫やパソコンを使用するなどわかりやすくするための工夫をしている。
(質問･意見等)	→内容が中学校までの教科書に似ている教科もある。小中学校で探究的な学習を実践した後に、高校でも積み上げていくためには、小中学校での学習を把握して行う必要があるので、今まで以上に授業研究が必要になると思う。 採択については、新学習指導要領に探究的な学習が言及されている。そのため、今回の採択理由でも主体的・対話的な深い学び、探究、本質に迫る、身近な問から始めるなど、各教科で探究的な思考という視点を非常に大切にして採択に当たっていると感じた。
(議決)	→承認

各課等の報告・予定事項	
(質問･意見等) （回答）	→学校が閉庁とあるがこの１週間は、学校の教員は休みを取れるのか。 →休みを取ることができる。
(質問･意見等) （回答）	→にぎわい図書館デーとあるが、どのような感じで行うのか。 →感染対策を取った上で親子での読み聞かせや、本について話し合う場を設ける。今のところはできると判断し、準備を進める予定である。
閉会	